

連合支部第29回ハイキングは5月24日(水)、川崎市内の「生田緑地」を歩きました。(参加者9名) 当日は薄曇りで前日までの暑さもなく、快適なハイキング日和となりました。

「生田緑地」は川崎市最大都市公園で、緑豊かな自然環境を有しています。

春には「杣形山」の桜、初夏にはハナショウブ、秋には美しい紅葉等四季折々の自然を観察できます。またここには「日本民家園」、「岡本太郎美術館」、「かわさき宙(そら)と緑の博物館」(プラネタリウムもあります)、「伝統工芸館」、「薔薇苑」(春と秋に開園)、「藤子・F・不二雄ミュージアム」などがありいろいろ楽しむことができます。

今回は、「杣形山」-「岡本太郎美術館」-「中央広場(昼食)」-「宙と緑の博物館」-「薔薇苑」と歩きました。(約10,000歩)

「杣形山」は標高84mの低山ですが頂上にはエレベーター付きの展望台があり、当日は5月にしては空気が乾燥しているせいか、かなり遠方まで眺めることができました。房総の山がうっすらと見えるほどでした。そこから、樹林帯を歩き、「民家園」を横切って中央広場から、「岡本太郎美術館」へ。

「岡本太郎美術館」では中に入らず、そのシンボルタワー「母の塔」(写真参照)を見てきました。中央広場での楽しく賑やかな昼食の後、「宙と緑の博物館」、「ショウブ園」(紫の花が少し咲いているだけで見ごろはまだまだ)から「薔薇苑」に向かいました。予定外でしたが薔薇園に行く途中に「葛籠屋工房」というステンドグラスの工房がありそこに寄ってステンドグラスの製品を見、製作に関する話を聞いてきました。そこから山道を少し歩き、裏口から薔薇苑へ。

「薔薇苑」は周囲の多摩丘陵の樹林帯に囲まれた広い敷地の中にあり白、黄、橙、紫、ピンク、赤等彩りも鮮やかな薔薇が約5,000株。少々最盛期を過ぎた薔薇もみうけられますが、咲き誇る様は見事でした。

今回は民家園等見なかったところも多く、またいつの日か訪れてみたいと思いました。反省会は向ヶ丘遊園駅前のガストで楽しく行いました。(文責:川島)

「参加者」

東京化学材料支部

林正巳(42C)、西川祥子(42C)

横浜支部

望月恭一(35C)、植竹裕(44TM)、
草場彰(修45E)

平塚支部

倉林弘行(44C)、佐藤務(48P)

厚木支部

高瀬一三(33E)

川崎支部

川島克之(38C)

(写真提供) 草場6、川島3



岡本太郎美術館 — 母の塔 —



中央広場①



中央広場②



中央広場③



バラ園①



バラ園②



バラ園③



バラ園④



バラ園⑤